

3001: 美醜びしゅうの目安めやすは人ひとそれぞれで、一般いっぽんとは逆ぎやくの基準きじゆんもあり得えますよね？

3002: ステュークリが、ギオールギエヴィチュの目めを凝視ぎしやうしし、アイコンタクトで
 なに うった
 何か訴なえたみたいです。

3003: ボロヴニツアの広場ひろばで、ファビエンヌが希少きしやうなスモーキークオーツを十個じゅつこほど
 う
 埋うめました。

3004: ベリスフォードは、ドラッグストアで配くすりられたサンプルの薬ぎやくが、偽薬みぬだと見抜きました。

3005: イーウクイへ行くいには、上役うわやくの言質げんちを取るため、根回ねまわしが必要です。

3006: 人ひとに限かぎらず、あらゆる命いのちを貴たつとぶと誓ちかったシャウミヤンだが、もう脆もろく崩くずれそうです。

3007: ピューピューと風かぜを切る音きが鳴おとる中な、フレイドウンの甲高かんだかい声こえが微かすかに

聞きこえますね。

3008: 亭主ていしゅは「でえじょうぶ」と繰くり返かえしますが、一家崩壊いつかほうかいが頭あたまをよぎります。

3009: ジェンドウバのマイナーなラジオ番組ばんぐみに、百通ひゃつつうものお便りたよが寄せられています。

3010: 今朝けさのヴェステイニエは肌寒はださむく、外出時がいしゅつじはウィンターコートきを着るべきです。

3011: ヴエルデイが口笛くちぶえを鳴ならすと羊ひつじがゾロゾロと現あらわれ、その数かずは二十四にじゅうびきであつた。

3012: 熟じゅくしたグレープフルーツを全ぜん力でギュッと絞しぼり、ジュースを作つくります。

3013: 猟師りやうしになってから害獣駆除がいじゅうくじよをしており、依頼いらいは六百件ろっぴやっけんを超こえました。

3014: ツアンデイは、ミョンファに一宿一飯いっしゅくいっばんの恩義おんぎがあり、ピンチの時ときには

すぐ駆かけつけます。

3015: スイヴィリーノヴィチュに怨敵おんてきはいない一方いっぽう、ヴラディッツアが良よきライバルです。

3016: フェリッツアーノは、足あしの指ゆびでポリウムを精密せいみつにコントロールする技わざを持ちます。

- 3017: トニャツツイの尽力で石油が湧出し、財政が起死回生する起爆剤となりました。
じんりよく せきゆ ゆうしゆつ ざいせい きしかいせい きばくざい
- 3018: 五十音のみで構成される文と、デョやデヤを含む文では、完成度が凸凹します。
ごじゅうおん こうせい ぶん ふく ぶん かんせいど でこぼこ
- 3019: 肩慣らしに、空手の師範であるスコップオワの妙技を、グミユントに広めたいですな。
かたな からて しはん みようぎ ひろ
- 3020: コンテストで入賞したピエールには、副賞としてゴージャスなトロフィーが贈呈されます。
でうてい にゆうしやう ふくしやう
- 3021: メチャメチャ多忙なフルクルクが、ポスターセッションに来てくれるとは幸せですね。
たぼう き しあわ
- 3022: チェギョンは何事にも勤勉であるが、作曲だけは何故か変拍子にこだわります。
なにごと きんべん さつきよく なぜ へんぴやうし
- 3023: ウイツイリウイトル出題の、固有ベクトル計算が難解で、解く前から武者震いが出ます。
むしやぶる で こゆう けいさん なんかい と まえ
- 3024: グルーネウエーゲンは、手術前に麻酔を打たれ、術後も意識が朦朧としてます。
しゆじゆつまえ ますい う じゆつづ いしき もうろう
- 3025: ビヤルキが、ツアルファティートの名詞を抜粋し並べて、出現頻度を調べてます。
めいし ばっすい なら しゆつげんひんど しら
- 3026: ブラッドショーと、イニヤリトウの友情に亀裂が入り、袂を分かつことになりました。
ゆうじやう きれつ はい たもと わ
- 3027: 単発のライブで観客を沸かせたデュルヴィルが、ファンとキャッチボールしてます。
たんぱつ かんきやく わ ひそ じしん て め と ほり
- 3028: デヘイヴンは、フォンツアーズに潜むスパイを自身の手で召し取るため、捕吏になると？
あわおど ひろう ぶじ じゆうにん う と
- 3029: ヒュブラで阿波踊りを披露したジオビナッツォは、無事に住人と打ち解けました。
くうぜんぜつじ いぎやう けう じゆんしよく
- 3030: 空前絶後の偉業は、カラジオルジェヴィチのイレギュラーな処置がきっかけです。
こうはい かば さいご りつぱ しよくむ は じゆんしよく しよち
- 3031: ペシエは後輩を庇い、最後まで立派に職務を果たし、殉職しました。
こうはい さいご りつぱ しよくむ は じゆんしよく
- 3032: ヴォーニヤイで陸上二百メートル走があり、俊足のグアツツォーニが五着でした。
りくじやうにひやく そう しゆんそく ごちやく
- 3033: ギャーギャー鳴くムクドリとチュンチュン鳴くスズメだったら、僕は後者を好みます。
な な ばく こうしゃ この
- 3034: ツアウニヤは、形見である山吹色の競泳水着を、ゲン担ぎに着用するそうです。
かたみ やまぶきいろ きやうえいみずぎ かつ ちゃくやう
- 3035: リヤザニの職人に真鍮の鍋を発注し、来月の納期を待っています。
しよくにん しんちゆう なべ はっちゆう らいげつ のうき ま

- 3036: ミエシユコが開^{かい}発^{はつ}した義^ぎ手^{しゅ}や義^ぎ足^{そく}は、下^へ手^たな人^{にん}間^{げん}より器^き用^{よう}で使^{つか}い勝^が手^ても良^よいです。
- 3037: 意^い地^ちになつてもウエリヨンには太^た刀^{ちう}打^{うち}できな^ないから、素^す直^{なお}に教^おえを乞^こいなさいませ。
- 3038: 二^{ふた}つの音^{おん}源^{げん}は聴^{ちよう}感^{かん}上^{じよう}似^にているが、デイジタル信^{しん}号^{ごう}処^{しより}理^りで誤^ご差^さを測^{はか}ると別^{べつ}物^{もの}です。
- 3039: お内^{だい}裏^り様^{さま}が罹^り患^{かん}した、疫^え病^{びよう}の特^{とつ}効^{こう}薬^{やく}を調^{ちよう}合^{ごう}したのは、シエフエールですか？
- 3040: ピカピカの五^ご百^{ひゃく}円^{えん}玉^{だま}が角^{かく}に落^おちてま^ました^{した}が、落^おとし主^{ぬし}は恐^{おそ}らくシユピツア^アです。
- 3041: シエウチエ^ぎン^のコ^うの技^ぎ能^{のう}水^{すい}準^{じゆん}は高^{たか}いが、メンタルを鍛^{きた}えることが課^か題^{だい}です^すね。
- 3042: チュクウエメカは、チンピラに威^{いか}嚇^{かく}されると睨^{にら}み返^{かえ}すほど、強^{つよ}気^ぎなパ^パーソナリテ^イーです。
- 3043: マウオポルスカにペ^{よん}ットを四^{ひき}匹^つも連^いれて行^いくと、日^に程^{つてい}の確^{かく}保^ほが難^{むず}しいです^すよね？
- 3044: アイヒエンツエルに限^{かぎ}らず、裸^{はだか}で外^{そと}を徘徊^{はいかい}すれば、忽^{たちま}ちお縄^{なわ}を頂^{ちよう}戴^{だい}します。
- 3045: バデー^はー^{すがた}ジョ^はの晴^はれ姿^{すがた}をカメ^おラに収^{おさ}め、チュンハ^みーウオンにも見^みせてあ^あげま^まし^しよう。
- 3046: エド^もウアルドが持^もつてい^いるパ^{むな}ー^{もと}ピ^あュアの^あクセサ^あリーが、胸^{むな}元^{もと}で妖^{あや}しく光^{ひか}つて^てま^ます。
- 3047: ジュド^よウランとヒ^よー^{にぎ}リツヒは、ゼン^おツオ^どフの弱^よみ^{にぎ}を握^{にぎ}り、ジ^おワジ^どワと脅^{おど}して^てい^いま^ます。
- 3048: イ^なエツツオが生^なご^{しよう}み^{ぎやく}を焼^{やく}却^{やく}し、ウ^くオズ^さニ^さアツ^さキが草^{くさ}むし^さりする役^{やく}割^{わり}です。
- 3049: レ^あッドのシャ^あツにブ^あラックのジャ^あケツトを合^あわ^あせるフ^あアッ^あシヨ^あンが、脈^{みやく}々^{みやく}と
- 3050: フ^はイエ^はロッツ^はツオ^は発^は展^{てん}の立^た役^{やく}者^{しや}であるウ^{ひと}エン^{へい}ズ^{ふく}イを、人^{むか}々^はは平^{へい}伏^{ふく}して迎^{むか}えま^ました。
- 3051: パ^みリヤ^みー^みレスは水^{みず}にう^めるさ^いく、マ^めニ^さアツ^さクな銘^{めい}柄^{がら}をコ^{よう}ー^{ゆに}ヒー^{ゆう}用^{ゆう}に輸^ゆ入^{にゆう}して^てい^いま^ます。
- 3052: ベ^よロベ^{ばら}ロに酔^よつ払^{はら}い争^あうよう^あに、バ^さカ騒^{さわ}ぎする愚^{おろ}か者^{もの}など見^みるに堪^たえま^ません^んよ。
- 3053: ゲ^めグ^さアンは目^めが覚^さめると、い^{いち}の^{ばん}一^{ばん}にバ^{しれい}デー^{かく}ー^にリ^にヤ^にから^にの指^し令^{れい}を確^{かく}認^{にん}しま^ます。
- 3054: 粉^{ふん}末^{まつ}の薬^{くすり}をシ^のウ^えエド^えワは飲^えめ^{きたい}ず、液^え体^{たい}にする^にるか、オ^のブ^のラ^のー^のトに包^{つつ}み飲^のむか^か
- どちらかです。

3055: ボーjourザが監督に就き、弱小チームが、四年で強豪へ変貌を遂げました。

3056: そうだなあ、チャニャラルでペットを飼うなら、兎か熱帯魚がお勧めですよ。

3057: ウォーミングアップはそろそろ終わり、百個のオレンジを素手で搾る作業の開始です。

3058: プウオツクで生姜入りの葛湯を飲み、寒空で夜通しの警備に備えます。

3059: トウドールは、ランキングが下位のギャルマトの挑戦を避け、腰抜けと

バッシングされました。

3060: ヴェスイエールは愚図だと揶揄されるが、ピヨコピヨコ跳ねる蛙を箸で摘めます。

3061: 飽食の時代が終わりを告げ、食糧難が始まるとフェニックスは推測しています。

3062: あれから、シェディアックの茶屋で、デユゴミエと甘美な和菓子をたらふく食べました。

3063: 黒装束に身を包むドウシユコは、魔術でも唱えそうな貫禄の出で立ちです。

3064: ブリュウワーは、法が人を裁くのではなく、人が法を捌くのだと唱えています。

3065: エキゾティックとドメスティックの違いの論述は、この科目で頻出課題ですよ。

3066: 日毎夜毎働き続け九年後、ゲオンテクは大分老け、白髪も目立ちます。

3067: 今年の五月二十日で、ヴォロドスがマガグエスを旅立ってから、四年になります。

3068: 過疎ってたクアイティオの店をリユシエンヌが宣伝したが、繁盛の兆しは

見えませんでしたか？

3069: ングエーという補助単位は、ニヤンジャ語由来だと、事情に詳しいウォーリーが

教えてくれました。

3070: ティテユバの推理は蓋然性に乏しいが、それでも賭ける価値はありそうです。

3071: パラッツォ・カナヴェーゼには、ファビュラスな淑女が山ほど在住していると

聞きました。

3072: ビエーンビエーンと泣く子でも、ゴツイリゼ土産を渡せば、すぐ笑顔になれますよ。

3073: ンゼオグウが治験をベースに学費を工面し、キャンパスライフを満喫しています。

3074: ウグリエシヤは、ドウミトルを懐柔し、ソヴィッツオの自治を裏から

支配したいようです。

3075: 蛇は縁起物だが、グイヒョンから見れば、大蛇に殺されかけたトラウマの呼び水です。

3076: 結局じゃんけんで決めるが、これは紆余曲折を経て決まった、フェアな手段です。

3077: ベルデヤエフは循環バスの仕組みが分からず、二時間も乗車し続けてたそうです。

3078: ウェイクフィールドは俳優なので、仮病を装い演習をサボるのは、お手の物です。

3079: トラベルスイーの便りで、デュハメルが旅先で亡くなったことを知りました。

3080: ピッツォニアは甲殻類に食物アレルギーがあり、立食パーティーでは気を配ります。

3081: この施策はファニヨニが撥ねつけたが、恙なく施行され、やれやれといった面持ちです。

3082: キャンプ中、ペルシヤヒヨウに襲われた、シュヴァルツエンベックの安否が

気がかりです。

3083: ところで、グルメニュースでうな重に肝吸いが付くと見ましたが、一度飲みたいです。

3084: 封建社会に疑問を憶えたイリエーナは、タイムトラベルを決意しました。

3085: ボレスワヴヴナは思考力が衰え、ギエケレシュが一時的に介護しています。

3086: キエプラヴィークで糸を染色し、後程ロジエストヴェンスキーが、

魚類を形作ります。

3087: キャンデロロの看病中、発作的にレヴヴォツフラーを食べたくなりました。

3088: ヴアルドウツジャで地震があり、ギャラティの住処も土台から傾きつつあります。

3089: グクオゾは眉目秀麗で、性格も謙虚だが、百パーセント好かれるわけではないのです。

3090: グレイヴスの無駄を省いた戦略で、五倍はいたであろう敵を一掃しました。

3091: ドロシイさん、頭痛が酷く足取りもおぼつかないなら、診療所で診察しましょう。

3092: ニヤブリは語尾を上げて話す癖があり、ガリアッツォが疑問文と勘違いします。

3093: もはやテヨやデヨを組み込むことが厳しいと思う人は、挙手してください。

3094: チェボタリヨーフは、イエヴリツチを唾棄すべき人物とみなすが、誤解なのです。

3095: 文献によると、テナニティスの街は迷路のようだと、アーテューロから聞きました。

3096: 罰当たりだが、聖域でマルガリータピザを食べ、ごろ寝させてもらいます。

3097: ヴェルサイユでは、甘やかすことなく厳しく躰ける風土が根付いたそうです。

3098: チンクエッティ様、ご所望なさっていた、ウォーキングダイナソーの化石で御座います。

3099: ツエゲラーに五冊の書籍を貸したのですが、全て借りパクされたんですよ。

3100: しかしながら、シユヴィーツのリヤザンツェヴァは純朴だが、どこか惚けたキャラです。

3101: デイツツインゲンで叶わぬ恋をしたギャリコは、駆け落ちまで頭を過っている。

3102: チェボタリヨーフは極度の下戸なので、一杯のスリヴォヴィツェで酔いつぶれる。

3103: コック長 ラングフスによるフォアグラのソテーは、クドくないが濃密な味であった。

3104: 疎開先のフォルノーヴォで、夕暮れ時に、烏がクアークアアと五月蠅く鳴いていた。

3105: カドウキヨイのとある個人塾では、未だに小刀で鉛筆を削る訓練をする。

3106: ウグレシイチは、年商を年収と偽り、オンラインサロンで金持ちだと

喧伝している。

3107: 中央アフリカに物資を送り、フォーフォードも医者として現地に赴く。

3108: 似合にあわぬねじり鉢巻はちまきを付けたコッオイエフが現あらわれ、隣りの部屋がざわざわした。

3109: ヴォイスラヴが秘密結社を主宰し、密かにシュチャヴニツアなどの、エキスパートを
ひ
ひめ
引き抜いてる。

3110: てるてる坊主ぼうずを吊るせば晴れるとされるが、逆さかにして吊るすと雨が降るのだろうか？

3111: トラブルで契約破棄したことを、ミャルビーが蒸し返したのは、誠まことに遺憾いかんである。

3112: ストーカー被害で鬱病うつびょうになったビエルレガードは、故郷のシュパイヒヤーに避難した。
ひが
ひが
ひが

3113: ジャヴォヒールが、前例のない地脈ぢみやくを探り当て、そのネタがネイチヤーに採録された。
ぜんれい
ぢみやく
さく
さいろく

3114: ファミリアとライヒャルトとの対談は、終始和やかに進行し、無事エンディングを
むか
迎えた。

3115: 現代げんだいで石高こくだかの算出さんしゅつなど無理だと、ドウシエビナが回答に窮きゆうした。

3116: 離れ離れになったイエンウエンとクズネツオフは、ゴルフレンツォで再会さいかいを果たした。
はな
はな
はな

3117: クトウゾフは、滑舌かつぜつが良くハキハキ喋るので、テレフォンオペレーターになった。
しゃべ

3118: 副業ふくぎようの収入しゅうにゅうが本業ほんぎようを超えるようになり、エスターライヒヤーは心こころが揺らぐ。
ふくぎよう
しゅうにゅう
ほんぎよう
こころ
ゆ

3119: リディギエルは、秋口あきぐちで急激きゅうげきに冷え込むと、体調たいちようを崩し休みがちになる。
あきぐち
きゅうげき
ひ
こ
たいちよう
くず
やす

3120: 崖がけの縁ふちは脆く崩れやすいので、ナビゲーターのグウエンから離れないように。
がけ
ふち
もろ
くず
はな

3121: 緻密ちみつなシュージックも好きだが、ヴェイパーウェイヴの独特どくとくな音も好きである。
ちみつ
す
どくとく
おと
す

3122: 五コマ目の講義では、代理だいりのベニョヴスキーから、クエルシトリナーゼについて教おそわった。
ご
め
こうぎ
だいり
おそ

3123: 昂すばるのことを六連星と呼ぶことを、ドヴィツイオーゾはいい加減覚かげんおぼえたら？
すばる
むつらぼし
よ
かげんおぼ

3124: チェリシェヴォへのエキスポートを我が社が独占すれば、計り知れない儲けになる。
わ
しゃ
どくせん
はか
し
もう

3125: この六個入りたこ焼き、外はカリつと中身はトロツとジューシーで、隙すきが無い。
ろっこい
や
そと
なかみ
すき
な

3126: デュウエイは中学校の社会科見学で、山羊の乳搾りを初めて体験した。
ちゅうがつこう
しゃかいかけんがく
やぎ
ちちしぼ
はじ
たいけん

3127: いきなり石垣が崩落し、ホリデエイが生き埋めとなったが、命に別状はなかった。

3128: 雪国育ちのデョーミンは、スキーやスノボで転ばず、上手に滑ることができる。

3129: 手間暇かけて作ったフィールミヨルクを三個入れた箱が、坂道を転がり落ちた。

3130: ヴイニョーラが、アウトドアでロープを緩みなく張って見せ、汚名返上した。

3131: モツツアグローニャで通り魔に刺されたが、出血量が少なく、輸血無しで助かった。

3132: 柿の種をポリポリ食べ、グダグダとテレビを見るのが至福の休み方なのだよ。

3133: リヤドが学祭で裏方に徹しパトロールしたおかげで、アクシデントもなく閉会できた。

3134: ビュイックの葉書は行間が狭すぎで、老眼鏡がないと読むのが辛い。

3135: 駄々をこねるグリユーネバウムの手を引き、ピヤチナに出かけると大人しくついてきた。

3136: ギマリヤインスは時系列解析が得意で、株でもやればビリオネアになれそうだ。

3137: クノーヒエが略装、すなわちカジュアルウェアで、格調の高いバンケットに來た。

3138: グイナムが、目をパッチリしてプリクラに写るやり方を、リヤザーノフと探っている。

3139: ウイツテンバーグが磨きぬいた入魂の技でも、シェイヒュルイスラームには届かない。

3140: まさに絶頂にいるウィッティングでさえ、盛者必衰の理からは逃げられなかった。

3141: ヒヤルマルはトロそうに見えて、塀を軽々よじ登れるほど身軽なんだぜ。

3142: ヴオデヤノーヴァは、ロロニョの傲慢さに腸が煮えくり返り、懲らしめようと

画策した。

3143: 出鼻を透かした奇襲で、防御力が百のピュアフォイを沈め屈服させた。

3144: クキエルは繊細な手捌きで、握り寿司や巻き物を続々と仕上げる。

3145: 静岡でヒョニョンと別れ、和解することはなく、永遠に会うこともなかった。

3146: 酢酸は強烈な刺激臭で、デルタフォースのピュイグでも、十秒は耐えられまい。

- 3147: ズイヤードは、人前でのスピーチで、衆生済度という四字熟語を使うことが多い。
ひとまえ しゅじようさいど よじじゆくご つか おお
- 3148: スキュリツエスは、息子が海士を目指す聞き、適材適所だと了解した。
むすこ あま めぎ き てきざいてきしよ りようかい
- 3149: イエンジェイチックは、天日に干すだけの、手作りおやつを極めるべく傾注する。
てんび ほ てづく きわ けいちゅう
- 3150: 魔女の秘薬作りに忙しいツイーツェロは、材料を求めヴォギユエに旅立つ。
まじよ ひやくづく いそが ざいりよう もと たびだ
- 3151: フェファーについて、妙な噂が流布してるが、其方は出所を知っておるな。
みよう うわさ るふ そなた でどころ し
- 3152: 村正といえば、屈指の攻撃力を持つ刀だと、リーフエンシユタールが買っていた。
むらまや くつし こうげきりよく も かたな か
- 3153: ポントリヤーギナは、百坪の空き地に、鉄筋コンクリートの集合住宅を建てた。
ひやくつば あ ち てつきん しゅうごうじゅうたく た
- 3154: あそこであたましく、テヤーテヤーデヤーと鳴いている、鳥の種別が知りたい。
な とり しゅべつ し
- 3155: ニャルブイエでの生活は綱渡りで、ヘロヘロになりながらも充実している。
せいかつ つなわた じゅうじつ
- 3156: 過ちでは改むるに憚ること勿れ、と言ったチエルクオツツイの声が、頭を過る。
あやま あらた はばか なか い こえ あたま よぎ
- 3157: ネマニャは洋画も邦画も好きだが、オフィシャルにはアニメ好きで知られている。
ようが ぼうが す ざ し
- 3158: 普段から型破りなフェルドウスイーだが、予想を超えた利益をもたらすこともある。
ふだん かたやぶ よそう こ りえき
- 3159: 六月の選挙で、ギョンウオンはライバルを後目に衆望を受け、血が滾る。
ろくがつ せんきょ しりめ しゅうぼう う ち たぎ
- 3160: リュツオウは、ヘラヘラと笑いながら、ちゃっかり鍋奉行のポジションについた。
わら なべぶぎよう
- 3161: 実際のところ、レヴォリユーションが他愛もなく達成できるなんざ、あり得ないがな。
じっさい たあい たっせい え
- 3162: 拷問は、ジュネーヴ諸条約で禁じられてると、ヴァグネルに伝言だ。
ごうもん しよじようやく きん でんごん
- 3163: 草陰に隠した三脚にカメラを設置し、スコルツエニーの密会相手を探りだす。
くさかげ かく さんきやく せっち みっかいあいて さぐ
- 3164: ドブローウエンは、メディア露出に積極的だったが、数か月で途切れ
ろしゆつ せつきよくてき すう げつ とぎ
み 見かけなくなった。
- 3165: 服装に無頓着なヴィルヌーヴだが、グリーンベルクに諭され洒脱になった。
ふくそう むとんちゃく さと しやだつ
- 3166: 震災でアギエポンのマンションが倒壊したが、実害は最小限で済んだ。
しんさい とうかい じつがい さいしようにん す

- 3167: 知力ちりよくを高たかめると、魔法まほうを覚え強おぼキャラきょうになれる情じようほう報ほうを、クリームブリュレよんこ四個で買かった。
- 3168: 光ひかりと影かげの布ぬのを接つぎ、神父しんぶが祈いのりを捧ささげれば、聖せいなるアミュレットできあが出来上あがる。
- 3169: ビオルゲは激務げきむでグロッキーだが、そこまで追おい詰つめた雇やとい主ぬしに、良りようしん心しんの呵か責しやくはない。
- 3170: ムルカルクウは筋金入りの博徒で、イカサマも疑うたがわれる不敗ふはいのジャンキーだ。
- 3171: セジウィックが烈火の如く怒れつかっており、柳眉りゆうびを逆立さかだてるを地じで行いく表ひようじよう情じようだ。
- 3172: ゴドイフィリヨが人事を統べる立場に就いてから、ファニーニョなど優ゆうしゆう秀しゆうな人材じんざいが揃そろった。
- 3173: ベツオプは勘かんが鋭するどいので、ブラムウエルからの無茶振りを、小賢むちやぶしくばやかした。
- 3174: グエイエは、漢詩かんしの詩八病しはちへいを調しらべ、六むつつは分わかったが残り二のこつが分ふたからなかった。
- 3175: 切羽詰せつぱつまったブオジミエシは、著名ちよめいな神社じんじやで、科研費かけんひの採さい択たくを発願ほつがんした。
- 3176: ビリヤレトデイノフは、敬語けいごと謙讓語けんじようごの使つかい方がグチャグチャで、ヒヤヒヤする。
- 3177: 三月さんがつに、シェローのアパートの外壁を塗装するが、カラーはエクリュにしたい。
- 3178: ヒュプラーが抜ぬけたので、スケジュールを前倒まえだおしし、入荷数にゅうかすうも五匹ごびきから八匹はつびきにする。
- 3179: 期日きじつから逆算ぎやくさんしたが、ドンゴオンがヒュッテンゲースに行くのは三日後でどうだ？
- 3180: その手ては、一目筋ひとめすじだが緩手かんしゆで、このちよつとしたミスが敗着はいちやくになる接戦せつせんだった。
- 3181: グアルニエリは、刃やいばを振るわれ奇跡きせき的に躲かわせたが、下手すれば袈裟斬りけさぎで即死そくしだった。
- 3182: ジョウエルさん、芸人げいにんとはいええ、病室びようしつで縁起えんぎでもない冗談じようだんはやめなさいね？
- 3183: ヒューバートを温存おんぞんし、ここはギニヤスとパーティーニョで五人抜きごにんぬしてもらうぜ。
- 3184: 甘あまつちよろい標語ひようごを掲かかげたヴィツオレクだが、それでサヴァイヴできただろうか。
- 3185: 汗あせっかきのテュークスベリーが選えらんだ麻生地あさきじは、さぞや吸水力きゆうすいりよくが高たかいだろう。

3186: フイリツピは、シエアハウス仲間であるバシユキルツエフの干渉に、

なかま かんしやう

ほとほと嫌気がさした。

いやけ

3187: 颯爽と走るセルメニヨのペースに巻き込まれると、バテてすぐ力尽きるぞ。

さつそう はし

ま こ

ちからつ

3188: つぶらな瞳のキャスパーは、選挙に出馬して、八票差で当選を果たした。

ひとみ

せんきよ しゅつぱ

はっぴようさ とうせん は

3189: ツエティニエで開かれた大会に、九時間かけて参加しに行ったチームが、初戦で退く。

ひら

たいかい くじかん

さんか い

しょせん しりぞ

3190: 自作した巾着袋をアルテムが欲しがるので、新たに作ってあげた。

じざく

きんちやくぶくろ

ほ

あら つく

3191: ギャビーが、己を優先してほしい一心で、木鐸のジルヒヤーに、チューニヨを貢ぐ。

おのれ ゆうせん

いつしん

ぼくたく

みつ

3192: サピエが必殺の策は、桑原に見抜かれ不発だったのに、小癪にもしらばっくれてると？

ひっさつ

さく くわばら

みぬ

ふはつ

こしやく

3193: テヤやクイ、グイの単語は既に枯渴したが、平仮名で習うピヤやビヤが少ないのは、

たんご すで

こかつ

ひらがな なら

すく

腑に落ちない。

ふ お

3194: ドウシャンよ、メンデルスゾーンのコンツェルトシユテュックに、ピアノなど

けんばんがつき

な

鍵盤楽器のパートは無いぞ。

3195: プーニヨはギャザラの孫で、日頃から祖母に、無能な部下の愚痴をこぼしている。

まご

ひごろ

そふぼ

むのう

ぶか

ぐち

3196: 天使や悪魔の羽なら、ズビヤギンツエフに頼めば、ため息が出る美しい

てんし あくま はね

たの

いき で うつく

出来栄えとなろう。

できば

3197: オリエークは、人里離れた断崖絶壁に、テントを張って寝泊りする。

ひとざとはな

だんがいぜつべき

は ねとま

3198: 申し訳ないが、リュッツェンからジェンツォーネへの厳密な方角は、

もう わけ

げんみつ ほうがく

マニアック過ぎて分からね。

す わ

3199: 流石に、チャットフィールドと例の立て籠もり事件を絡めるのは、筋違いだろ。

さすが

れい た こ

じけん から

すじちが

3200: シニョーニヤは、悪事を重ねるキュニョーを根気よく諫め続け、遂に改心させた。

あくじ かさ

こんき いさ つづ

つい かいしん